

# せせらぎ



No.403 2023年5月号

滋賀県勤労者山岳連盟



## 目次

---

- 表紙からのメッセージ
- 私のひとりごと
- 5月例会山行案内【岩トレ】
- 5月例会山行案内【三十三間山】
- 3月山行報告【明神岳】
- 4月山行報告【藤原岳】
- 湖南岳友会総会議事録
- 定例会議議事録
- 3月山行記録
- お知らせ・編集後記

## 5月の予定

---

- |   |                   |          |
|---|-------------------|----------|
| ○ | 7日 例会山行 岩トレ (三上山) | 4/30 締切り |
| ○ | 21日 例会山行 三十三間山    | 5/7 締切り  |

## 4月の山行

---

- |   |         |     |
|---|---------|-----|
| ○ | 2日 藤原岳  | 13名 |
| ○ | 16日 土倉岳 | 締切り |

## 表紙からのメッセージ

---

写真は富士山6合目からのご来光です（山頂は混むと思いやめました）。

一度は登っておこうと思い、4年ほど前からチャレンジした富士山。

1回目は悪天候のため8合目あたりで撤退、2回目は吉田ルートで久須志神社までは行きましたが、このときも悪天候で剣ヶ峰には行けず下山。3度目の正直の昨年夏にようやくお鉢周りをして剣ヶ峰に到達でき山頂からの景色を堪能しました。

富士山は登る山では無く見る山とも言われていますが、須走ルート、御殿場ルート、富士宮ルートも機会があれば登りたいと思います。

## 私のひとりごと

---

### 「栃木県の山のことなど」

2021年の1年間、栃木県宇都宮市で生活をしていました。

関西から見ると、北関東の栃木県、埼玉県、群馬県、茨城県はあまり馴染みのないところです。子供が栃木で生活する前の私もそうでしたが、位置関係やそれぞれの県庁所在地も正確に分らない人も多いのではないのでしょうか。こちらから見ればどこも同じように見えますが、埼玉県は東京に近く、栃木県は関東平野の北の端、群馬県は栃木県より山の中、茨城県は北関東の中では唯一海に面しており、それぞれ個性があります。逆に北関東の人から見れば滋賀県は馴染みのない所で、県庁所在地を知らない人も多いと思います。

時間の関係で近くの山にしか行けませんでした。低山ながら個性的な山を楽しみました。一番よく行ったのは古賀志山（583m）で、低山ながら鎖場のある岩場があちこちにあり、しかも鎖に頼らないと難しいような岩場も多いです。しかし、簡単なコースもあって、網の目のようにルートがあり、多くの人で賑わっています。

岩山（328m）は本当に低い山で、麓から見ると木々に覆われたこんもりとした山ですが、文字どおり、あちこちに岩峰や岩場があります。凝灰岩でできている山で、でこぼこのある岩が多いので、ホールド、スタンスは豊富です。頂上付近には、ほとんど垂直に見える60mの岩壁もあり、大きな鎖が設置されています。ここの岩は滑らかで、腕力がないと難しく、過去に死亡事故もありました。私もこの岩場の下降は挑戦しませんでした。

あと、本山（562m）を最高峰とする宇都宮アルプスや鳴虫山（1104m）は簡単に行けるので、これら4つの山は、それぞれ1～2ヶ月に1回くらいのペースで登りました。

少し遠出したのは那須連峰の朝日岳（1896m）、茶臼岳（1915m）、三本槍（1917m）で、2000mに満たない山ですが、稜線は展望の良いハイマツ帯や岩稜帯が広がり、3000m級の雰囲気があります。

日光付近は日本百名山の男体山の嫁さんにあたる女峰山（によほうさん、2483m）が山としては面白そうでしたが、時間の関係で2,000m付近までしか登れませんでした。鳴虫山も日光の山ですが、霧降高原や中禅寺湖の周辺にも美しい森やトレッキングコース、また尾瀬のような湿原の戦場ヶ原があります。

日本の山はどこでもそうですが、栃木の山も春の花や秋の紅葉がきれいです。3月には古賀志山のあちこちでカタクリが咲き始めます。カタクリ山という有料の観光地もあり、一面のカタクリをミズバショウと一緒に楽しむことができました。

4月に入るとアカヤシオを皮切りにツツジ類が咲き始めます。滋賀に比べるとミツバツツジ以外は分布が広く、トウゴクミツバツツジ、シロヤシオ、アカヤシオ、ヤマツツジ、レンゲツツジが、標高の高い所では6月まで、あちこちの山で楽しめます。特に鮮やかな赤のヤマツツジは、霧降高原、女峰山への登山道では見事です。

シャクナゲは中禅寺湖の近くの山で5月に咲いていました。こちらはアズマシャクナゲで、滋賀のホンシャクナゲとの違いは私には分かりませんでした。

7月には日光霧降高原でニッコウキスゲ群落が見られます。ここはニッコウキスゲの名前の由来の地で、以前は広範囲に分布していましたが、現在ではシカの食害で、延長2kmの防鹿柵の内側だけに咲いています。それでも見渡す限りと言ってもよいくらいです。

紅葉は日光いろは坂が全国的に有名で、日光中禅寺湖周辺には紅葉のきれいな所が多いです。この年はカエデ類の色づきは良くなかったそうですが、カエデ類のほか、ミズナラやカラマツ、さらに春の花もきれいだったシロヤシオの紅葉が楽しめます。那須連峰や近くの低山の紅葉もきれいでした。

雪山は行けませんでした。戦場ヶ原周辺での雪上トレッキングを楽しみました。

山からの眺望は富士山を期待していて、最初に562mの宇都宮アルプスから見た時はうれしかったです。ところが、栃木県は関東平野の北端になるので、実は山に登らなくても、南側が開いている所からは富士山が見えることが後ほど分かりました。2022年の元旦には、自宅近くの橋の上から、遠くに初日の出で色付いた富士山を見ました。

観光地では日光東照宮が有名ですが、これが栃木県にあることを知らない人も関西では多いようです。「見ざる・言わざる・聞かざる」の三猿や、眠り猫の彫刻が有名ですが、陽明門（別名「日暮の門」）の彫刻が面白かったです。側面にあるのであまり注目されないようですが、特に「四睡（しすい）」といって、中国の仙人のような3人が虎と一緒に、うたた寝をしている像が印象的でした。禅の真理を示すものらしいですが、徳川家康が望んだとされる太平の世を表しているのでしょうか。



スペースが残ったので、どうしてもよい栃木県の話です。

■県庁所在地は宇都宮市ですが、栃木市もあります。明治の初めは今の栃木市にあたる栃木町が県庁所在地でしたが、これに不満を持った宇都宮町の人々の運動で、強引に宇都宮に移したということです。ちなみに他にも山梨市と沖縄市が、県名と同じ名前なのに県庁所在地でない都市です。

■栃木は日本有数の雷の多いところで、滋賀ではあまり見られないような巨大な積乱雲が、春から夏にはよく現れました。南東方向に開けていて、太平洋から吹き込む湿った空気が男体山や那須連峰の壁のような高山にぶつかって大量の積乱雲を発生させます。

■関西ではあまり馴染みがないですが、優れた建材の大谷石（おおやいし）の産地です。栃木の家の塀にはよく使われ、加工がしやすく耐火性にもすぐれ、また独特の風情もあって、帝国ホテルなどの古い建築物にも好んで使われました。大文字山送り火の火床も大谷石です。採掘跡は巨大な地下空間になっていて、大谷資料館として公開されています。ドラマや映画のロケ地にもなっていて、一見の価値はあります。

5月定例山行案内

## 三上山 岩場トレーニング

岩場を安全に歩くためのトレーニングです。

三点確保、姿勢、体の動かし方を意識しながら岩を登る練習をしましょう。

【日程】2023年5月7日（日曜日）

【集合】野洲駅南口 8時

【個人装備】ヘルメット、ハーネス、安全環付きカラビナ1個、日帰り山行装備

【参加表明】期限：4月30日（日曜日）

- ★ 三上山の西側斜面、二越の岩場で実施します。
- ★ 直行直帰もOKです。
- ★ 車を出せる方は参加表明メールに一言添えをお願いします。



二越岩場 2017年6月例会山行で



## 5月例会山行・県連交流山行

### 三十三間山 861m

福井県三方上中郡若狭町と滋賀県高島市との境にある山塊である。北川の源流であり、山頂には一等三角点が所在する。全コースを通じ危険場所はなく登山道も整備されており、三十三間山から轆轤山までの尾根道は展望良好である。

日程：2023年5月21日(日)

集合：野洲駅 6時10分 琵琶湖大橋米プラザ 6時30分

行程： 野洲駅 6:10→米プラ 6:30→倉見登山口P 8:05→夫婦松 9:15→風神  
10:05→三十三間山 10:35→風神 11:15→轆轤山 12:00(昼食)→天増川  
分岐 13:00→林道出会 13:20→番衆大神 13:50→倉見登山口 14:10 →  
米プラ 15:45→野洲駅 16:05

装備：雨具、水筒、食料、非常食、地図、コンパス、ヘッドランプ、ストック 手袋  
筆記具、保健証

申込：5月7日(日)までに

★車提供の有無もご記載ください。

★SLは参加者から選出させていただきます

## 明神岳(1432M)



- ◆ 実施日 2023年3月12日(日)
- ◆ 天候 晴れ時々曇り
- ◆ 参加者 10名
- ◆ コースタイム 駐車場 9:00 ~ 明神滝 10:10 ~ 明神平 10:58 ~ 明神岳 11:35 ~ 判官平(昼食) 12:03 ~ 出発 12:26 ~ 桧塚奥峰 12:45 ~ 明神岳 13:36 ~ 明神平 14:05 ~ 駐車場 15:40

- ◆ 交通費 走行距離(南草津駅~登山口P): 226km (往復)  
参加人員: 10名 車数: 2台  
一人当りの負担額: 1400円 (226km×30¥/km×2台÷10名=1356円)

台高山脈の主峰、明神岳(1432M)から桧塚奥峰(1420M)を歩きました。

JR南草津駅西口6時30分に出発して、2時間20分かけて大又林道終点駐車場に到着。テキパキと準備を整え予定の9時に出発できました。出発から20分後に衣服調整休憩を取り、3度の渡渉をゆっくりと安全に終えて明神滝で休憩。明神平手前に少し雪が残っていましたが、最後までツボ足で歩きました。あしび山荘(サザエさんの家)のある明神平に到着。その後30分ほどで明神岳(みょうじんだけ)。残雪の中ダウンアップを1時間進み、桧塚奥峰(ひのきづかおくみね)。少し雲がかかっていましたが、高見山が見えました。

目的の桧塚奥峰まで行こうと思いつもよりペースを上げて歩きましたが、皆さん頑張って列が乱れることなく進み、無事に下山できました。霧氷の美しい頃に再度訪れたいですね。

### 一口感想

私、ずっと丹後だったので、南の方は縁がなく、台高山脈も行った事がなく、車に乗せてもらっている間も、向きが変わる度に、どこを走っているのやろと思いながら乗っていました、林業で栄えた地方だけあって、立派な民家が沢山ありました、山は、広々とした広葉樹林が続き、新緑や色々

な季節にも来てみたら綺麗だろうと思いました、リーダーさんはじめ皆さんありがとうございました。

山を一日中楽しみクタクタになった日でした。  
沢沿いの急登は石だらけ、沢渡もあり、面白い…危険！  
明神平は穏やかな緑、木だけのブナ林が美しかったです。  
そして檜塚奥峰、雪渓を下り登りクタクタのだめ押し。  
この山奥まで運転してくださったお二人に感謝です。



#### 小鳥が春を呼ぶ明神岳

当日は春の様に暖かく、登り初めから汗が出るほどでした。雪は少なかったですが、明神平からは雪の斜面を降りる事に。久しぶりの山行と雪に脚を取られながら何とか「檜塚奥峰」へ。

360度のパノラマは今度の楽しみに取って置きましょう。

苦手な渡渉でも渋滞を作ってしまう、これからの課題も多いですが、皆さんとご一緒出来てとても楽しかったです。達M様、松M様、長距離の運転ありがとうございました。





## 例会山行報告



# 藤原岳

《日時》 2023年4月2日(日)晴れ

《参加者》 13名

### 《行程》

6:10 野洲駅→6:30 竜王セブンイレブン→7:10 奥永源寺溪流の里→

7:30 孫太尾根登山口駐車場、車以外下車 車をデポするため、大貝戸駐車場に車で移動→

8:15 車戻り→8:32 孫太尾根登山口→9:37 丸山→10:28 草木→11:17 多志田山→

12:05 藤原岳(昼食)→12:51 藤原山荘→13:24 藤原岳九合目→13:35 八合目→14:14 五合目→14:21

四合目→15:01 登山口→15:14 藤原岳観光駐車場 行動時間:5時間31分

山行案内時、孫太尾根～藤原岳のピストンの予定でしたが、孫太尾根は山頂直下に急登と岩場で下りにリスクがあるとCL判断により孫太尾根～藤原岳～大貝戸コースに変更になりました。

孫太尾根、藤原岳観光駐車場はともに有料 300円/台。藤原岳登山口駐車場(無料)は満車でした。

孫太尾根駐車場ではヤギ、ニワトリの歓迎があり、桜も美しくデポ移動中の待ち時間を楽しませてくれました。登りではカタクリ、ヒトリシズカ、アシビ、アマナ、オニシバリなど山行を楽しませてくれました。フクジュソウは?と心配しましたが、下山途中

に少し背の高い黄色いお花に出会えました。スマホがない!というトラブルがあったものの、無事発見。長丁場の山行、とても充実した一日でした。山の下のパン屋さんで購入された石窯パンをおすすめさせていただきます! おすすめです。



## 《感想》

登りはしんどかったけれど、楽しい尾根でした。春の妖精、春のはかない命、スプリング・エフェメラル。可憐な花に癒され、励まされながら一步一步登り、岩場を越えた時、万歳でした。皆さんからの応援ありがとうございました。



藤原岳には春の花が咲いていると知り期待を持って登りました。印象に残った花はスミレ。登り始めのしんどい所にスミレ(タチツボスミレ)を見つけ、その後のもいーい間隔で見ることができ癒されました。そしてカタクリ。しっかりカッコイイ姿のカタクリ。たくさんのカタクリをみるのは初めてです。藤原岳はおおらかな形。頂上は周囲の山々、台地で広々。頂上までの登り下りは疲れましたが楽しい一日をすごしました。ありがとうございました。



初めて登る「藤原岳」孫太尾根は長かったけれど、花を探しながら楽しく登れました。ただ最後のゴロゴロ岩の急登はとても怖かったです。皆様のおかげで、頂上を踏む事が出来てよかったです。

ありがとうございました。



## 3月山行記録

---

### 2023年3月山行記録

山行期間	山域・山名	例会等	参加者数		ブログ掲載
			会員	会員外	
3/4	取立山	例会	10		○
3/7	武奈ヶ岳		1		
3/12	明神岳	例会	10		○
3/14	六甲山系 摩耶山・長峰山		1		○
3/20	金勝アルプス、		2		
3/21	岩根山	例会下見	3		
3/28 ~ 3/30	蝶ヶ岳		1	1	○
3/29	大文字山・小関越え		3		

※ コース、人数等は、事前に提出された計画書に基づいて記載していますので、  
実際とは異なる場合もあります。

近郊の三上山、音羽山などの個人山行は、通常は記載しません。

複数の月にまたがる山行は、両方の月に掲載しています。

